

## 印相一覽

印相とは左右の手の指で種々の形をつくり仏の意志や教えの内容を示すもので、その形を「印相 (いんぞう)」といい、その形を作ることを「印を結ぶ」といいます。

施無畏印	与願印	施無畏与願印	転法輪印
		 <p>施無畏印 与願印</p>	
<p>「恐れなくてよい」と相手を励ますサインである。不空成就如来が結ぶ。</p>	<p>相手に何かを与える仕草を模したもので宝生如来などが結ぶ。</p>	<p>これは信者の願いを叶えようというサインである。奈良の大仏さんのこの印相を結んでいる。</p>	<p>手振りで相手に何かを説明している仕草を模したもので「説法印」とも言う。「転法輪」(法輪を転ずる)とは、「真理を説く」ことの比喩である。</p>
降魔印	智拳印	来迎印	禅定印
			
<p>降魔印は、誘惑や障害に負けずに真理を求める強い心を象徴する。</p>	<p>大日如来だけが結ぶ。煩惱を滅し悟りに入る。</p>	<p>来迎とは人々を救うために阿弥陀如来が迎えに来ることで、阿弥陀如来像だけが結ぶ。</p>	<p>これは仏が思惟(瞑想)に入っていることを指す印相である。座禅の時結ぶ事でなじみ深い印相である。</p>